

# 甲斐市水道審議会（第3回）

## 会議資料

甲斐市上水道課

- 1 適正水道料金の検討（H29 年度）結果による改定率(案)の水道料金と  
現行水道料金との比較について . . . . . 1
  
- 2 料金改定率を30%、40%とした場合の財政シミュレーション結果  
について . . . . . 3

# I 適正水道料金の検討（H29 年度）結果による改定率(案)の水道料金と現行料金との比較について

## 1. 水道料金の比較

(1) 現在の本市の水道料金について

表1 基本料金及び超過水量料金

用途	基本料金	超過水量料金（1 m <sup>3</sup> 毎）			
		21～ 40 m <sup>3</sup>	41～ 80 m <sup>3</sup>	81～ 120 m <sup>3</sup>	121 m <sup>3</sup> 以上
専用・共用給水装置 （一般用）	20 m <sup>3</sup> まで	99円	121円	143円	165円

(2ヶ月計算/税抜)

表2 メーター使用料

口 径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm
使用料	120円	240円	260円	260円	500円	2,600円	3,200円

(2ヶ月計算/税抜)

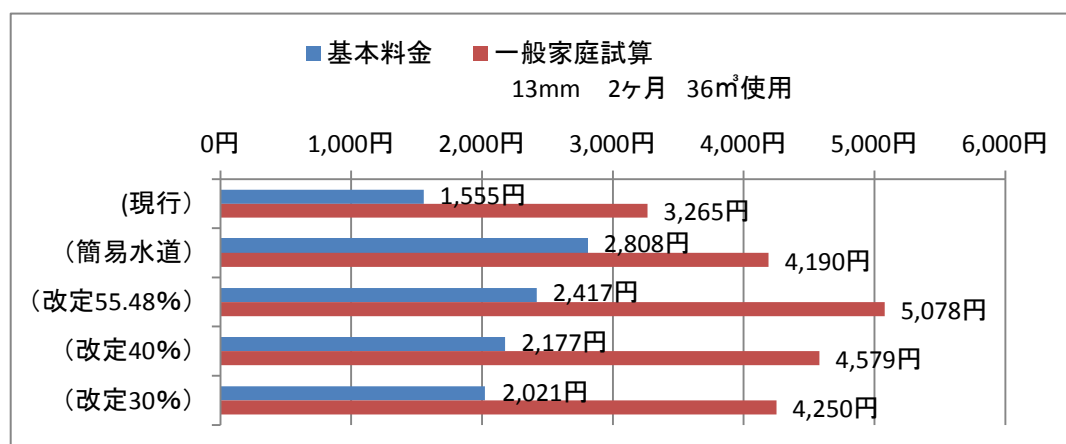
(2) 一般家庭（13mm口径）の平均使用水量における比較

一般家庭の13mm口径を使用している1戸当たりの平均使用水量は、36 m<sup>3</sup>（2ヶ月）です。料金について、比較したものが表3となります。1戸当たりの人数については、把握できませんが、H30.6月末現在の本市の1世帯あたりの人数は、約2.3人となっております。

H29年度に実施した適正水道料金の検討結果として、改定率55.48%で料金を値上げした場合、現行料金に比べ2ヶ月で1,813円（約月907円）の増額となります。

表3 平均使用水量における料金比較 (単位：円 税込)

	基本料金 20 m <sup>3</sup> (2ヶ月)	使用水量 36 m <sup>3</sup> (2ヶ月)	現行水道料金 との比較
現行の水道料金	1,555	3,265	—
55.48%改定の場合	2,417	5,078	1,813
40%改定の場合	2,177	4,579	1,314
30%改定の場合	2,021	4,250	985



【参考】

(3) 1世帯(4人)で60m<sup>3</sup>使用したと仮定した場合(13mm口径・2ヶ月)の比較

改定率案	基本料金	従量料金1m <sup>3</sup> 当たり(円)				消費税込 金額	現行料金 との差額
		20m <sup>3</sup> まで	21~40 m <sup>3</sup>	41~60 m <sup>3</sup>	計		
現行料金	1,440	—	1,980	2,420	5,840	6,307	—
55.48% 改定率	2,238	—	3,080	3,760	9,078	9,804	3,497
40% 改定率	2,016	—	2,780	3,380	8,176	8,830	2,523
30% 改定率	1,872	—	2,580	3,140	7,592	8,199	1,892

※60m<sup>3</sup>の根拠：2.3人で36m<sup>3</sup>と仮定し、(4人/2.3人)×36m<sup>3</sup>≒60m<sup>3</sup>

## Ⅱ 料金改定率を30%、40%とした場合の財政シミュレーション結果について

2019年度（H31年度）の料金改定率を低く抑えることで、結果的に計画期間後期の供給単価は高くなるデメリットがあるものの、2019年度の料金改定率を40%にまで抑える代わりに、2024年度（H35年度）の改定率を高く設定することも選択肢の一つとして考えられます。この場合、下図右側が検討結果となり、2024年には43%の改定が必要となります。なお、2019年度の料金改定率を30%とする場合は、下図左側が検討結果となりますが、2023年には資金不足となるリスクが高く、5年より短い期間での料金改定が必要となり、10年の計画期間内に3度料金改定を行う必要があります。

